

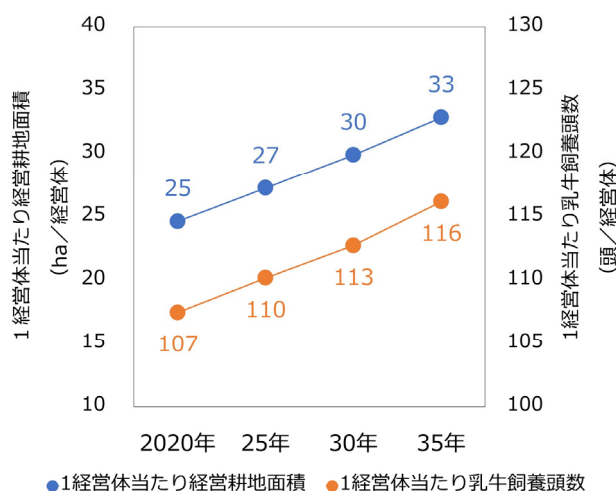
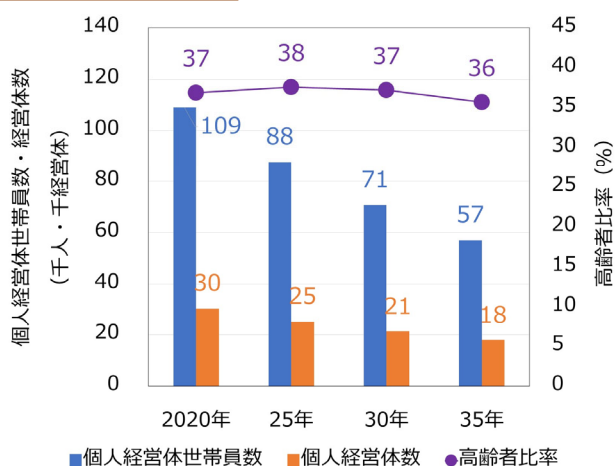
どうなる？

農家戸数と多様な担い手の役割

概要 Abstract

- ・ 振興局別・市町村別に個人経営体の世帯員数・経営体数を2035年まで予測しました
- ・ 予測した耕地面積・飼養頭数の維持に必要な1経営体当たり経営規模を推計しました
- ・ 耕地面積の維持に対する多様な担い手の1つである組織経営体の影響を評価しました

成果 Results

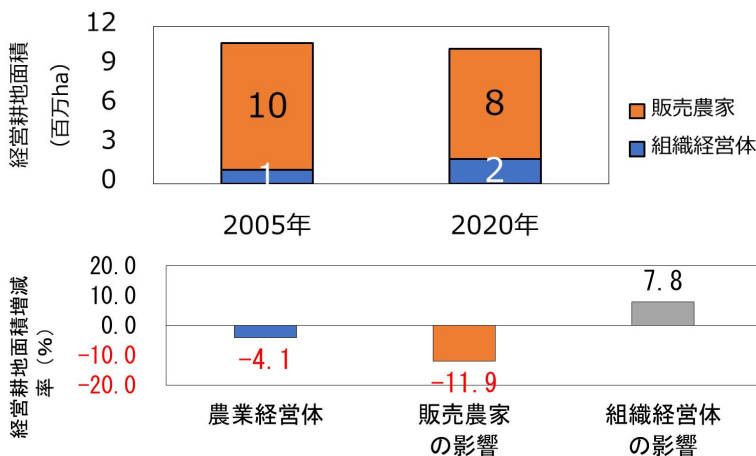
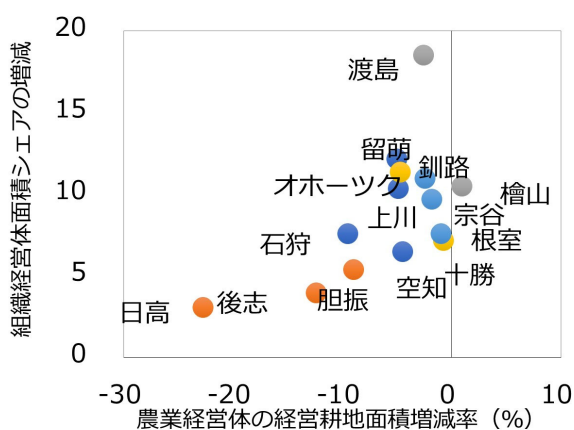


戸数予測

2035年の個人経営体数は、20年対比で59%の水準まで減少することが見込まれました。

規模予測

2035年の1経営体当たり面積は、20年対比で133%の水準まで拡大すると予測されました。



農地集積

2005年から20年まで、耕地面積が維持された地域ほど組織のシェアが増加していました。

組織経営

2005年から20年まで、組織経営体の面積拡大によって耕地面積減少が抑制されていました。

【用語解説】

個人経営体：個人（世帯）で事業（同上）を行う経営体をいう。法人化して事業を行う経営体は含まない。

普及 Dissemination

今後の農業施策や技術開発目標を考える材料として活用できます。

連絡先 Contact

中央農業試験場
農業システム部 農業システム
グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp